清く広く高らかに

第２０号　　令和６年３月８日（金）

柏原市立堅下南中学校　校長室だより

春はすぐそこ・・・

中学校３年間で、定期考査、チャレンジテスト、私学入試、そして今回受験する３年生の公立一般入試選抜で、なんと 31 回目のテストになります。勉強した成果が点数として結果に現れて喜んだ経験や、思うようにいかなかった経験、それらの経験から学んだ数々の教訓を自分なりに生かして、入試に臨んで欲しいと思います。とにかく、体調には気を付けて、自分の希望を叶えるために全力を尽くしましょう。合格の知らせを受け取るまでは不安は消えないと思いますが、どうかやり遂げてください。そして、寂しい思いが増してきていると思いますが、３年生の先生方をはじめ、３年生に関わった先生方は、卒業後の人生に思いを寄せています。合否の結果だけに一喜一憂することなく、喜びの気持ちや辛い気持ちもすぐに切り替えて、「春」を迎えてくれることを、心から願っています。

さて、３年生にとって、南中へ通う日は卒業式を含めて後、３日となりました。この１年間を振り返ると、常に最高学年として模範を示してくれました。体育祭や、部活動、専門委員会や修学旅行、あらゆる場面で「さすが」と思わせてくれた皆さんです。そして、３月 13 日（水）の卒業証書授与式では「さすが、南中 41 期生！」という姿を見せてくれるものと思っています。1，２年生の皆さんは、先輩方の姿を後方から見守り、最後の勇姿を目に焼き付けて、先輩方を超える南中生にこれから育ってくれることを、期待しています。

最後になりますが、保護者の皆様、地域のみなさまにおかれましても、56 名の卒業生に多くの想いを寄せて頂くとともに、卒業後も見守ってくださいますよう、よろしくお願い致します。

卒業後も、3 月 31 日までは、堅下南中学校の生徒です。4 月の新たなスタートに影響を及ぼすことがないように、春の準備を進めてください。

卒業式に向けた準備を、ＰＴＡ代表委員の皆さまが、夜遅くに集まり、作業を行ってくれています。代表委員の皆さまには、この１年間、生徒たちのために、ご尽力賜り、心より感謝申し上げます。

卒業生に向けたメッセージボードを、職員、生徒が寄せ書きし、「飛翔」という願いとともに、玄関に設置しています。立ち止まって、１つひとつのメッセージをじっくりと見て欲しいと思います。

1，2年生も、進路に向けて学習を行っています。

１年生では、キャリア学習発表会が行われました。一人ひとりが１分間で仕事について調べたことを発表しました。世の中には多くの仕事があり、自分たちの知っている職業は、ほんのわずかであったこと。また、知っているつもりでも意外に知らなかった仕事内容、年収や資格など調べて行けばどんどん疑問がわいてくる。いい機会でしたね。一方で、プレゼン力も光っていました。自信をもって、人に何かを伝えることは、これから身につけておかなければ大切な力です。引き続き頑張ってください。

２年生では、進路指導主事の嶋田先生より、進路決定までの流れを、具体的に説明してもらいました。私学公立の違いや、通信制、定時制、単位制などの学び方、いわゆる内申と呼ばれる３年間の評定の取り扱われ方等々、真剣にそして熱心に聞いていました。後、１年後にはそれぞれの進路について決定されています。どのような選択をしていくのか、今から情報を収集し、目標に向かってできることを精一杯取り組んで欲しいと思います。

小中一貫総括会議の様子

２月22日に、南小中の先生が一堂に会して、今年度の振り返りと次年度に向けた課題の整理を行いました。小中合同遠足や体験授業、ホップステップ南中ライフなどの児童生徒間交流に関わることや、教科指導の一貫カリキュラムに関わる事などの教職員交流。有意義な時間を過ごすことができました。そして、次年度は
「全員が安心して登校できる学校づくり」
「学びに向かう力の向上」
以上 ２ 点について計画に基づき取り組んでいく事を確認しました。